

農業用揚排水機の簡易な診断技術に関する研究会を開催しました

1. 開催日時 平成25年11月12日 13:30～16:30
2. 主催 (独) 農研機構 農村工学研究所
3. 会場 農林水産技術会議事務局筑波事務所 第5会議室
4. 参加者
 - ・ (独) 産業技術総合研究所 及び 民間企業 (トライボテックス株式会社) の有識者
 - ・ 全国の各ブロックから揚排水機場が比較的多く存在する道県の土地改良事業団体連合会の管理専門指導員8名 (北海道、山形県、千葉県、新潟県、愛知県、滋賀県、岡山県、熊本県)
 - ・ (独) 農研機構 農村工学研究所
 - ・ オブザーバー (関東農政局土地改良技術事務所、利根川水系土地改良調査管理事務所 ほか)
5. 開催趣旨
 - ・ 全国に2,800カ所以上存在する基幹的な農業用揚排水機場は、老朽化が進行し、標準耐用年数を超過した機場が年々増加している
 - ・ 機場の機械設備 (ポンプ等) の点検は多額の費用をかけて分解目視している現状
 - ・ 異分野の技術を導入し、施設を分解することなく低コストで的確に診断する技術の開発 (ブレイクスルー) と適用に向け、課題の抽出及び対応の方向性を探るため、上記4. の参加者を招請し研究会を開催
6. 開催結果の概要
 - ・ 機械設備の潤滑油診断技術に精通する有識者2名及び農村工学研究所の國枝上席研究員から、農業用揚排水機の簡易な診断技術に係る研究や開発の動向等について話題提供があった
 - ・ 道県土地改良事業団体連合会の農業用揚排水機の管理指導担当者8名から、維持管理の実状や直面している課題等について報告があった
 - ・ 農業用揚排水機への潤滑油診断等の新技术を現場に適用する際の課題や対応の方向性等について総合討論を行った



小泉所長挨拶



研究会の様子